

「社会的」ひきこもり・若者支援近畿交流会 主催

ヒキコもり・コネクト

session & symposium

ひきこもりは怠け者。ひきこもりはかわいそうな人。ひきこもりは甘えているだけ。ひきこもりは普通になれない人。ひきこもりは近寄らない方がいい危ないヤツ。ひきこもりはやさしくて真面目。ひきこもりは××××××。

それらはきっと全て妄想——
あなた方の価値観を壊したい。
私自身の価値観を壊したい。
境界線が崩れてゆく世界へ——
ようこそ、ただいま

開催日時：2018年3月18日(日) 10:00—17:00 (懇親会18:00頃より)

会場：豊中市千里文化センター「コラボ」(住所：豊中市新千里東町1-2-2)

資料代：500円

市営地下鉄・北大阪急行／大阪モノレール線 千里中央駅スグ

Design by
Jun Nakanishi

申し込み

ご参加を希望の方は、①名前、②希望する分科会の番号、③シンポジウム参加の有無、④懇親会(飲食代別途)参加の有無、を明記の上、下記のいずれか、またはホームページ(hikimap.org)よりお申し込み下さい。

MAIL: mail@hikimap.org FAX: 06-6616-9136

住所：〒550-0015 大阪市西区南堀江3-15-7-5A

後援予定

大阪府、豊中市、枚方市、高島市(滋賀県)

今へつなげる、
次へつながる。

I 分科会

10:30-12:30(予定)

(※各部屋に分かれて行きます)

1 ひきこもりと家族会のあり方

プレゼンター: 古庄健(枚方市親の会世話人)

ひきこもり支援で家族会は大きな役割を果たしています。そのあり方について話し合しましょう。

2 「ひきこもりくん」をゲーム形式で育てよう!

ファシリテーター: 中西淳(フリーランスデザイナー)

架空のケースひきこもりくんをベースに、こもりながらも成長できる方法をみんなで考えませんか。

3 企業人と語り合うこれからの仕事のカタチ

ファシリテーター: 三浦雄己(社会福祉法人つむぎ福祉会)

企業の方をお招きし、誰もが働きやすい環境を作るための「仕事のカタチ」についてアイデアを出し合います。

4 言葉の響きを聴くワークショップ&食べる瞑想

プレゼンター: inoue(そばアーティスト)×五條治(2児の父)

声を出す。体を動かす。食べ物を食べる。日常的にしていることに意識を向けてみませんか?

5 行政関係者と考えるまちづくりワークショップ

プレゼンター: 是永宙(高島市議会議員)、竹内佑一(PSIカウンセリング)

行政で実施されている施策を聞いた上で私たちにできることをゲーム感覚で考えます。

6 「外」の居場所と余暇活動~ダイバーシティカップを例に

ゲスト: 川上翔(認定NPO法人ビッグイシュー基金)

ひきこもり等、当事者向け以外の場や居場所について、ダイバーシティフットサルを例に考えてみます。

7 これから若者支援を志す方のためのワークショップ

プレゼンター: 伊藤康貴(社会学者)

最前線で活躍されている方を交え、これから現場に参入する際の悩みや問題点について話し合います。

8 ひきこもりと教育問題

ファシリテーター: 宮城登(大阪市学校園教職員組合 執行委員長)

教育学者、元教員、経験者ら、日本の教育に課題を感じている“当事者”が、内省的に「教育」と「ひきこもり」の問題について考えます。

分科会とシンポジウム

笑って、帰ろう。

II シンポジウム

13:00-15:40(予定)

THE ひきこもり業界24人のから騒ぎ

ひきこもり関係者が24人も集まるシンポジウムとは、一体どんなものなのでしょうか。「ひきこもり」ってどういう人なの?——答えは「人それぞれ」です。誰かが代表して答える事なんてできません。「ひきこもり」は、多様なのです。「ひきこもり」の固定観念を覆したい! 当日は、司会・ゲストらの案内と共に、いくつかのテーマにもとづいた対話形式で進行します。同じ世界にいながらでんでバラバラな登壇者総勢24名を迎え、今日は愉快なから騒ぎ。多様性について肌で感じて、そして笑顔で帰れますように。どうなるかは、来てのおたのしみ。

司会: 竹内佑一(PSIカウンセリング代表)
ゲスト: 田中直之(千里地域連携センターセンター長)
原未来(滋賀県立大学准教授)

& ゆるぺちや交流会(+休憩スペース)

特定のテーマで分科会に参加したいわけではないが交流はしたい方のスペースと、休憩所。

詳細は随時更新しています。
ウェブサイトをご覧ください。

hikimap.org

